一、活動の誘発因について

前稿で述べた実験グループのうち、年長児型の幼児グループについて、記録の確かなもの十七名を次のような点から分析してみた。

(1) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をする。
(2) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。これらのような場合、何か特定の目的を持って活動をすると考えられる。
(3) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。
(4) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。
(5) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。
(6) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。

(1) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。

(1) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。

(1) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。

(1) 主として、自己の内的情緒的要因や、問題解決等の目的をもって活動をすると考えられる。
グラフ3 活動内容の変化（20分間に現われた平均回数）
- 創造的あそび（積木、絵画などのあそび）
- 人への身体活動（おぶきったりたおしたりなど）
- 舞場への働きかけ（走りまわったり、すべったり）
- 知的活動（絵本など）
- ごっこ

グラフ4 活動の仕方（20分間に現われた平均回数）
- 発展
- 移行
- 低滞
- 立ちどまり
- 移動
四、個人差について

以上、みてきた諸点について個人別に比較をするとその活動の仕方により大きな違いをみることができる。分析対象児十七名を大別すると次の四つの型になる。A(人)との関係が平行的で活動が移りやすいタイプ。B(物)への働きかけが強いタイプ。C(物)自発的な働きかけが強いタイプ。D(自己)の規律性が強いタイプ。

（表1参照）

注目すべきことはこれらの差異が強く現われる時期をみると活動開始後四十分から一時間位であることが多いため、この頃に適切な指導が必要であることが明らかである。

（表2の例参照）

以上みてきたことはあそびの過程に関する一部についての考察に、行動の領域を広げるような場を用意してやることもまた指導の要点となる。

表1

<table>
<thead>
<tr>
<th>タイプ</th>
<th>A (5名)</th>
<th>B (2名)</th>
<th>C (6名)</th>
<th>D (4名)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>主な誘発因</td>
<td>人</td>
<td>人</td>
<td>人</td>
<td>人</td>
</tr>
<tr>
<td>主な関係のもち方</td>
<td>関係志向</td>
<td>活動志向</td>
<td>活動志向</td>
<td>活動個人関係志向</td>
</tr>
<tr>
<td>主な活動内容</td>
<td>場への働きかけ</td>
<td>場への働きかけ</td>
<td>場への働きかけ</td>
<td>場への働きかけ</td>
</tr>
<tr>
<td>活動の仕方</td>
<td>発展的</td>
<td>発展的</td>
<td>発展的</td>
<td>発展的</td>
</tr>
</tbody>
</table>

—47—
<table>
<thead>
<tr>
<th>時間</th>
<th>10.30</th>
<th>10.15</th>
<th>10.00</th>
<th>9.45</th>
<th>9.30</th>
<th>9.15</th>
<th>9.00</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>表 (2)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### A型 例 (男児)

<table>
<thead>
<tr>
<th>検</th>
<th>室内で友たちと食事していたり、こちらそばしたり、飛行機に乗っていたり、椅子にかけたりする。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>室内で男の子に話しかける。 室外のランプをたどり上ったり下ったりする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>窓のランプを上ったり下ったりする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>室内に入り、組み板で作りはじめ。作った自動車を走らせて積みあげる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>作った自動車を「ビーピー」と走らせて積みあげる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>さらに、「とことこ」として自動車を並べて運動しようと走らせる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>友だちから木をまき歩く</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| また、まわりにして休憩。
| 他の自動車と接続をかわす。 |
| 自動車がこわれて、修理。それをするなら、友だちとおしゃべり |
| 立ち上がったり、人形をとって抱いてまた走る |
| 木もまた数台並んで走らせ、おしゃべりしたり |
| 人形を乗せて走らせたり、何度でも数台並んで走らせたり |
| おしゃべりしたりする。 |
| 「お片づけ」で片づけはじめると |

### C型 例 (女児)

<table>
<thead>
<tr>
<th>検</th>
<th>友だちの作った積木に上ったり下たりしたり、ぬいぐるみを</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>友だちから木をもらったり消したり、すぐに椅子から立って</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>歩きまわる。時々先生に話す</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| また、まわりにして休憩。
| 他の自動車と接続をかわす。 |
| 自動車がこわれて、修理。それをするなら、友だちとおしゃべり |
| 立ち上がったり、人形をとって抱いてまた走る |
| 木もまた数台並んで走らせ、おしゃべりしたり |
| 人形を乗せて走らせたり、何度でも数台並んで走らせたり |
| おしゃべりしたりする。 |
| 「お片づけ」で片づけはじめると |

### 先生と子供たち

<table>
<thead>
<tr>
<th>まとめ</th>
<th>銃をみたばれでまわりに近づいた。すぐにやめて歩き</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>友だちにきそえでまわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとごとのところで步行き、まわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>先生といっしょにまとごとのところで歩き、まわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとめ</td>
<td>銃をみたばれでまわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
</tr>
<tr>
<td>友だちにきそえでまわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとごとのところで步行き、まわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>先生といっしょにまとごとのところで歩き、まわりに近づいた。すぐにやめて歩き</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

---

48